

## 遠賀川水辺館を使ったモデル授業（試行）の実施結果

- 1 期日 平成17年11月15日（火）9時30分～16時00分  
 2 場所 遠賀川水辺館・遠賀川河川敷  
 3 対象学年と参加児童数 5年 13名（教師を含めて全15名）  
 4 対象校 鞍手町立 室木小学校  
 5 単元名 流れる水のはたらき（総時間数 7時間）  
 6 単元目標

地面を流れる水や川の様子を観察し、流れる水の速さや量による働きの違いを調べ、流れる水の働きと土地の変化についての考えを持つようにする。

### 7 単元割

- 第1時 流れる水はどのような働きをするのだろうか。 事前調査（1時間）学校にて  
 第2時 流れる水の働きを調べてみよう。 （2時間）水辺館  
 第3時 流れの速さによって流す働きに違いがあるか調べよう （2時間）水辺館  
 第4時 降った雨の量と川の水の量には関係があるのだろうか。  
 また、洪水を防ぐための工夫を調べよう。 （1時間）水辺館  
 第5時 学習のまとめをしよう。 テスト（1時間）学校にて

### 8 活動内容

時間	項目	内容	指導者等
9時30分～	水辺館見学	館内施設を見学。	小堀さん （水辺館職員）
10時00分～	流水実験	実験器を使った実験。	室木小学校 （上之先生・佐藤先生）
11時10分～	止まった水の働き 実験	10円玉に水滴載せ。 水面にクリップ浮かせ。 石鹼ポート。	淵上さん （河川環境保全 モニター）
12時15分～	昼食		
13時00分～	流速実験	手作りウキを作って、 川にて流速実験。	淵上さん （モニター）
14時40分～	大きな水の力と 洪水を防ぐ工夫	洪水ビデオで、大きな水 の力を感じ、洪水を防ぐ 工夫（堤防等）を学ぶ。	大月（国交省） ・高橋さん （前室木小校長）
15時20分～	まとめ	学習のまとめ。 感想を発表。	坂本教授 （近畿大学）

### 9 活動状況



（流水実験）



（クリップ浮かせ）



（流速実験）